

PTK2018-002-01

2018年3月吉日

日本企業 代表者各位
産学民・会員各位

(一社) PTKタイ国際交流経済機構
代表理事 田中 慶司
(押印省略)

SDGs 達成し持続可能な未来構築について(2)

記

標記の件、気候変動や水質源枯渇など環境問題、貧困や飢餓問題、ジェンダー（性）に基づく偏見や不平等の問題など、今なお世界は様々な課題を抱える。

1. 概要（総論）

世界が持続的に発展し続けるためには、こうした課題の解決が不可欠であり、それには様々なイノベーションが必要です。

目的達成のため、SDGsでは17の目標と169のターゲット、さらに230の指標が掲げられた。また、SDGsは以下の5つ項目を実施原則としてあげています。

- ① **普遍性**＝これまでの多くの国連の開発目標とは異なり、途上国だけでなく、新興国や先進国の問題も取り上げられている。目標は全ての国に普遍的なもので、あらゆる国の行動が求められている。
- ② **包摂性**＝「誰一人取り残さない」との理念のもと、子供、若者、障害者、HIV／エイズと共に生きる人々、高齢者、先住民、難民など、全ての人々を包摂した取り組みが求められている。
- ③ **参画型**＝政府や自治体だけでなく、民間企業や非政府組織、大学といった機関など、あらゆるステークホルダーが参画し、連携することが求められる。なかでも企業への国連の期待は大きい。企業はその経済力から、市民や消費者に対する影響力が大きい。それだけ果たす役割も重大だとされる。
- ④ **統合性**＝経済、社会、環境の3分野の課題は不可欠であり、統合された視点からの取り組みが求められる。
- ⑤ **透明性と説明責任**＝目標に対する取り組みを定期的に評価、公表する仕組みが求められる。

続く(3)へ

仮称：日本地方創生振興機構 東京事務局（設立準備中）

※ご意見、ご要望等は✉ info@ptk-thai.or.jp